市報いしおか No.371
1月号 昭和61年1月15日発行 茨城県石岡市役所 〒315 石岡市大字石岡3165-2

市の人口
（1月1日現在）

男	24,598人
女	25,264人
計	49,862人
	14,407世帯

石岡の民家 ⑮　小松崎文次郎宅（若宮2）

ニュー・イヤー座談会 未来を開く街づくり

明けましておめでとうございます。
今回は、新春の特別企画として〝ニューイヤー座談会〟をお届けします。昭和六十一年からの石岡の未来はどう開かれていくのか。さらに五万都市・石岡の新たなる街づくりは、どう展開していくのか。
駅東開発や総合運動公園、そして来年春にオープンする福祉会館などを中心に、石岡の理想の未来図を明暗の両面から捕え、市長と四名の市民の方々にオープンに語っていただきました。
さて、石岡の未来はバラ色か否か。あなたもぜひ考えてみてください。

▶ニューイヤー座談会の出席者は、左から向田辰夫さん・山本善一郎さん・鈴木市長・小貫三佐子さん・寺井宏任さんの5名です。

駅東開発は三代にわたる市長の懸案

鈴木　明けましておめでとうございます。えー、今日は新春の座談会にふさわしく、昭和六十一年の市の事業を中心に、これからの石岡市がどう開発され発展していくのかを、皆さんとともに、その未来図を考えていこうと思っています。

現在、計画されている主な事業として、「駅東地区土地区画整理事業」と「福祉会館」・「総合運動公園」の三つがあげられます。

まず、最初にいわゆる〝駅東開発〟についてお話をしたいと思います。で、この事業ですが、上野駅から常磐線の各駅を下って見ていくと、どこの駅でも両側がきちんと整備されています。

けれども、石岡は見ての通り。県南の主要都市としてこんな雑然とした状態はどこにもありません。このままではいけません。

しかし、その地区の方々にとっては直接の変革が加えられるのですから大変な問題です。だから反対だという気持も分からないわけでもありません。

が、私は何とかしてご理解をいただき、賛成に変わっていただくように努力していきたいと思います。私にとっては、本当に容易でない大事業ですが、不退転の決意でこれに望んでいます。

向田　私は去年の四月に石岡に転任してきたのですが、駅を降りた瞬間にやっぱり何か開発が遅れているといった感じでした。よその駅は、橋上駅や駅ビルに変わりつつある。

駅が、その街の顔であり玄関口ならば、もう少し美しく風情とか何かがふっと沸いてくる特色ある駅づくりが必要だと思いますね。

寺井　特色あるというお話ですが、石岡は〝歴史の里〟という県の指定を受けている訳です。で、それがどんなメリットがあるのか？それともう一つ、市の特性がはっきりしていないという点が強く感じられるのですが。

山本　そうですね。それは、石岡が歴史の里としてPRできるものがあるかどうか、出土品の展示で人を集められるかどうかといったことですね。

向田　どんな駅づくりが必要か。地元のかたはどう考えているのでしょう。

例えば、花壇のある駅・橋上駅・駅ビル結構。現状の駅前広場では、タクシー・バスの発着場があちこちにあって非常によそから来た人に分かりにくい。だからこれをもっと奇麗にしない限り、それが石岡の印象になって残ってしまうんです。

小貫　バス停一つにしても、ひとつ裏側に来てしまうとなくなってしまう。ですから、どうしても駅の東側が裏という感じになっているのです。

（次ページに続く）

■出席者プロフィール

★寺井宏任 (26)　読売新聞記者　埼玉県大宮市出身。早大から岐阜支局を経て、昭和59年お祭りの日に石岡支局へ。

★小貫三佐子 (36)　英語塾講師　福島市出身。図書館ボランティアとして活躍中。昭和59年の婦人海外派遣団石岡代表。

★山本善一郎 (45)　商工会議所青年部会長。国府三丁目で時計店を経営。趣味は釣り。

★向田辰夫 (57)　朝日新聞記者　元新潟県長岡支局長。川越市では自治会長も務める。

石岡ハレーフェスティバル
星空にロマンを求めて

ハレーすい星は、七十六年という人間の一生にあたる年月を経て、私たちの前に姿を見せてくれます。十二月十六日、関川小学校に集まった約八百人の天文ファンは、壮大な星空の出会いを体験しました。

その模様を参加者の体験記からお伝えします。

▲"ハレーすい星を捕えたぞ！"その瞬間子供たちの目は輝きました。約800人が集まったこのイベントは石岡ハレーを見る会とNTT石岡によって子供たちにプレゼント。

◆関川小学校五年　小松崎　理

「まだ六時だというのに、外は雲一つなく、星もチカチカ瞬いていた。じっと見ていると、あの星空に吸い込まれそうだ。痩せ細った月も、ハレーすい星を見るために顔を出している。

僕は、今日のためにサブリーダーに選ばれた。そして、約一週間の間、夜残って天体望遠鏡の操作の練習をしてきたのだ。

色々な星を捕えて多くの人に見せてあげたい。指導者の役にたちたいなどと考えていた。そのうちに、もう関川小学校には大勢の人が集まっていた。

第一部。大勢の人で、小さな体育館はパンクしてしまいそうなほどぎゅうぎゅう詰めになってしまった。そこで、七十六年前にハレーすい星を見た青木光さんと高木一郎さんの話を聞いたり〝つくば星の会〟の久保庭敦男さんの説明を聞いた。

第二部。僕は、月・木星・オリオン大星雲・アンドロメダ大星雲などを捕えて見せていた。

「オレが、ハレーを捕えてやる」と、オリオン座の方向でハレーを捜す面白い人もいた。

ハレーフェスティバルは、思い出となって僕の心から消えることはないだろう」

★これがハレーすい星だ！
12月16日関川小学校で撮影。
露出10分・トライX使用
つくば星の会・金丸治源氏撮影

★市議会第4回定例会 3P　★新春ずいそう（市長・議長）3P
編集：秘書課広報広聴係

山本　商工会議所の青年部で駅東開発をどうしたらいいか、と討議したことがあるんです。で、二・三割の減歩方式（関係者の土地が事業のために減らされる方式）では中々コンセンサスを得られないんではないか。もう買収方式で十文字に道路をつくっちゃえと。道路が出来れば、もうある程度解決するんではないか。――そんな意見がありましたね。

寺井　今までは駅が街の核になっていましたが、これからは例えば学園都市の核が百貨店や大学であるように、新しい形での発展形態ができ得る訳です。公共のターミナルを中心に発展をはかるのが今までのやり方でしたが、これからはそういう形にこだわらなくてもいいのではないかと感じます。

いわゆる方法論になっちゃうんですが、発想を変えて〝ここに何かを作って核にしちゃえ〟とやっても間違いではないように思うのです。

向田　寺井さん風の発想の転換も必要でしょう。学園都市のように巨大な物が一挙に出現するのなら一つの方法論です。

ところが、現状ではすでにここに街があり、同時に周辺都市を見ると土浦・水戸が駅ビル。さらに取手も近く駅ビル。荒川沖・牛久・佐貫が橋上駅といった状況なのです。

▶「駅東土地区画整理事業」の計画では、東駅前広場からの25メートル道路と公園が出来る予定です。

来年の春に完成する ふれあいの福祉会館

▲「石岡の遅れている様子を見ると本当にあせりを感じます」と鈴木市長。

鈴木　ここは相当遅れています。今、お隣りの羽鳥駅の駅東でさえ整然となりつつある。羽鳥にも追い越されてしまいますよ。こんな状態を見ていると当市のたちおくれを思い、夜もおちおち眠れないようなあせりさえ感じます。

反対の人はこう言うんです。「区画整理の減歩方式は結局タダ土地を取られてしまう。そうでなく、減った分のお金を払う買収方式なら賛成だ」と。

それを何故あえてとらないか。これは香丸通りの歩道整備の状況をみれば分かります。一年経っても、いくらも進みません。ですから減歩方式をとらないと十年経ってもできません。世の中の動きに取り残されてしまいます。区画整理方式は、そこに住んでいる人の土地を道路や公園に当て、快適な住宅環境にするというものです。

これは三代にわたる市長の懸案です。なるべく早くやらなければ、南台団地が出来て、住宅が張りついてきます。その時、市以外の人が石岡に移り住むかどうかは、市の魅力にかかっているのです。谷間の深みに石岡が転落していかないよう、市民の皆さんと力を合わせてやっていかなければならないのです。

鈴木　私は、福祉行政には非常に力を入れて重点施策としています。ふれあいの心に満ちた〝福祉会館〟を建て、中身の充実した福祉行政の拠点としたいのです。

で、福祉会館とはどんなものか？

場所は国府五丁目七番で、前に太田材木店があったところです。国道6号から二十メートルぐらい入った所。一方通行なものですから、貝地の交差点からちょっと行ったところに出入りする広い道を作りたい。鉄筋で一部二階建て、一階が約千平方メートル・二階が約その半分。そこに老人福祉センターや身体障害者福祉センター・リハビリの設備・図書室・健康相談室などが出来ます。経費は約二億六千万円。そこが福祉の拠点となる訳です。

山本　この福祉会館、まさしく石岡の街づくりとしては最大のポイントになるという感じですねぇ。

小貫　実は私、図書館のボランティアをやっています。で、福祉会館といえば、ボランティアの中心地にもなると思いますが、立派な建物が出来るのですから、ぜひ住民サイドに立った使い方をさせて欲しいと思います。

市の施設を使った人の多くが、その対応に〝やってあげているんだ〟風のものが感じられると言っています。いつまでもそのままでは利用者も減ってしまいます。

だから、できるだけ細かく気の配られた施設運営を考えて欲しいものです。

山本　そうですね。施設を有効に働かせていくためには……。

寺井　僕は以前、外国に住んでいたことがあるんです。そこで一番日本との違いを感じたのは、施設の運営ということなのです。例えば、図書館が夜中の十二時まで開いてるとか。

ハードを追って器をいっぱい作るのもいいですが、運営する側の姿勢でかなり中身が変わってしまいます。その辺を一番気をつけて欲しいですね。行政マンも商人と同じで愛想よく。（全員が笑う）

関東大会も可能な総合運動公園

▶「福祉会館の運営は、細かく気を配って欲しいものです」と小貫三佐子さん。

鈴木　総合運動公園。これを手掛けようと考えています。場所は、商業高校の裏手で約十二ヘクタールの土地が用意されています。その中に体育館・野球場・多目的広場などが予定されています。サッカー・ラグビーなどもでき、特に野球場は茨城の大会が開催できるようにと構想を練っています。関東大会なども可能になれば人がわんさと集まり、街も活気づくでしょう。とにかく南台とあいまって、

（次ページ上段に続く）

リレー・インタビュー　ひまわり談話室㉒

●日浅三津子㉑　東洋製缶㈱

三津子さんの勤務する〝東洋製缶〟は、柏原工業団地でアルミ缶を製造する従業員約二百名の会社です。

担当している仕事は、缶の測定とキーパンチ。「中々おもしろい仕事ですよ」と溌剌（はつらつ）とした答えが返ってきました。

――どんな製品です？

「主にジュースとビールの一リットル缶です。缶ビールを飲むほど缶の消費が増えるので、どうぞみなさんビールをたくさん飲んでください」

――石岡については？

「香丸通りの丸千百貨店という店が私の家なのですが、歩道が中々出来ないんですよ。二年前に引っ込んだのですが……。その時は、出掛けていて帰ってきたらいきなり家が動いていたのでビックリしました。

で、石岡は三つのときに引っ越して来たんですが、その時からお祭りには毎年参加しています。石岡はお祭りは華やかですが、不断が寂びしすぎますね。大きいデパートや映画館があったらいいなあ、と思う時があります」

――趣味については？

「趣味はあまりないです。しいて言えばお祭りでしょうか。今、生け花をならっているのですが、もう少ししたら着付けもやる予定でいるんです。

旅行もしたいなあ、と思います。五月のゴールデンウイークになったら友達六人と沖縄に行く計画も練っているところなんですヨ」

次回は、稲田模型店の稲田勝也さんです。

国勢調査完了

＝ご協力ありがとうございました＝

◆昭和60年国勢調査（10月1日現在）

実施年	世帯数	男　性	女　性	合　計
昭和60年	13,897	24,065人	24,990人	49,055人
昭和55年	13,369	23,371人	24,458人	47,829人

★昭和55年～60年の人口増加数＝1,226人（増加率2.6%）
★昭和50年～55年の人口増加数＝4,150人（〃　9.5%）

国勢調査も、市民の皆さんの協力と調査員さんの尽力により、完了しました。ありがとうございました。

あの辺はすばらしく開けてきます。

寺井　市長さん。関東大会などと言わないで、オリンピックを呼んだらいかがでしょう。（全員大爆笑）

山本　あの、この前、石岡市内で交通量調査をしたら一日で千人を切ってしまったというんです。数年前は四千五・六百人もいたんですよ。これはもう商店街ではない、というところまで完全に落ち込んでしまったんですねぇ。

で、これを解決するには結局、明るく楽しい買い物の広場をお客様に提供しないと今のファミリーは満足してくれない。

寺井　いずれにしても、石岡は商業都市になるのか、工業都市になるのか、文化都市になるのか、レジャー施設を作るのか。それをはっきりと方向づけをすれば、もっとうまく物事が回転していくような気がしてなりません。あれもこれもというのはダメですね。

確かにあちこちから色々な要望があって、どれもないがしろにできないのは分かりますが。

向田　ところで市長さん。私が石岡に来て驚いたのは、お祭りの熱気ですよ。あのエネルギーがどこから出てくるのか今もって分からない。

色々な問題点もあるようですが、ともかくあの膨大なエネルギーが街づくりに集まったらこれは大変なものが出来あがります。石岡が、あの力をどこかで吸収できれば未来は非常に明るいものとなるはずです。これからの石岡には、若い人たちの力が必要です。

一つ市長さん、石岡の未来を開くために、これからはいっそう市民と行政が手を取り合って進んでいただきたいと思います。

鈴木　分かりました。（力強い笑顔）

◀「市内の歩行者の数は、数年前の五分の一以下に落ちこんでしまったのです」と嘆く山本善一郎さん。

石岡ギネスブック(6)

石器収集その数一〇〇〇点
若宮四丁目 小松崎誠一さん

▲10年間こつこつと集め歩いた石器からは、古代人の生活のぬくもりが伝わってくるようです。

いくつもの箱に詰められたやじり・石斧・磨石などが部屋の中の一角でにぎやかに飾られていました。首飾りや石の刀、砥石や火を起こした穴がいくつもある石皿などなど。どれを見ても一万年もの昔に生きた人々の暮らしが、具体的に想像できるものばかりです。今日の私たちの文化的な生活は、これらの道具によって築かれて来たといっても過言ではありません。

小松崎さんが石器収集を始めたのは、ちょうど十年前の二十四歳の時。府中二丁目で製菓店を営む考古学研究家・小島善治さんからやじりをもらったのがきっかけだそうです。

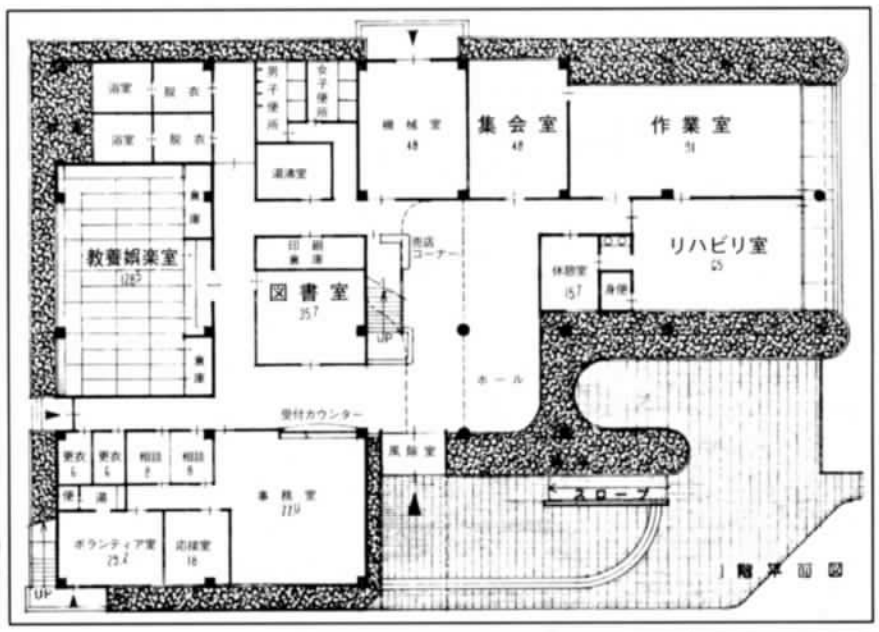
「古いものが好きだったんです。一番最初に発見したのは、昭和五十年の三月三日で、龍神山麓の宮平遺跡でした。

集める方法は、もちろん表土収集です。個人の発掘は、違法ですから。収集の場所は、宮平遺跡と千代田村の高倉周辺。雨の降った翌日、桑畑の表面や畑の境界に植えてあるウツギの根元を丹念に見ていくんです。一日かけて二つか三つです」

小松崎さんの特に好きな石器は、やじり。箱には約二百点が詰まっていました。

「やじりにも大理石とか黒曜石で作られたのがありますが、これらから石器時代の色々な事柄が想像できます。例えば、黒曜石は石岡周辺にはなく、長野県地方で産出される石です。ですから、当時の交流のルートが長野方面にまで及んでいたことが推測できます。その他、ヒスイの装飾品もあり、これは原産が日本海側の糸魚川周辺。石一つにもゾクゾクするような世界が秘められているんです」と語る小松崎さん。石器に飾られた部屋の中は、古代世界へのロマンが息づいていました。

これぞ石岡一。コレクションや特技など身の回りの気付いたこと、自薦他薦を問いません。どしどし編集部にお寄せください。☎3-11111 内線273



▶福祉会館一階の完成予想平面図。二階は、約半分の面積で、研修室となります。

市議会第四回定例会

大内秀男教育長再選

昭和六十年、市議会第四回定例会が、さる十二月十三日から二十三日までの十一日間、市議場において開かれました。

この定例会では、昭和六十年度一般会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算、下水道条例の一部改正、市道の認定が上程されたほか、議会最終日に、教育委員の任命同意を追加し、慎重審議の結果、いずれも原案通り決まりました。

教育委員の任命同意については、大内秀男氏を議会の同意により任命し、その後教育委員会が開かれ、教育長に再選。

潤いある心・ぬくもりの心

静かな除夜の寒空に流れる風は、心の底までしみとおる梵鐘の余韻を伝え、年は明けた。

去年は悔いることなく精一杯努力したつもりだった。しかし謙虚に振り返ると、これは多分に一人よがりで柔軟さを欠いていることに気付くのであった。

私は、ある宗教人が話してくれた言葉を思いだした。その人は自分の過ちについて我が子から、「大人は悪いことをしても謝らなくて済むんだからいいのね。私も早く大人になりたい」

そう言われ、頭から冷水をかけられた気分だったと言うのである。このたわいもない話の中に、実は素晴しいものが光っていた。自分の非を子供に謝れる親。そんな親や上司になりたいと思うが、自分の殻に閉じ籠もり素直さを失なうのは、私ばかりではないようである。組織の中で一番大切なことは、人間関係の潤いであろう。相手の立場に立って物を考え、他人の心の痛みを知るぬくもりの心が、人間的魅力をなすものと信ずる。自分の考える理想に近付くべく、年頭に当たりしかと目標を樹立したいものである。

●市長　鈴木堅太郎

昭和61年 新春ずいそう

たばこ畑のトラ刈り坊主

よく知り合いの人に、〝たばこづくりをしていても、吸いませんね〟と聞かれる。

「健康のため」と答えるのはあくまで公式論。本音は幼い日目の前の畑にその葉があることに気付いた。

程良く乾燥したのを丸めて火をつけて驚いた。辛いの辛くないの、大人は良くこんな物を吸うものだと感心した。

それでも面白半分、親の目を盗んだ喫煙を続けていたら、とうとう親父に見付かった。

目から火が出る程どやしつけられたあげく、生意気盛りでせっかく伸ばした髪の毛をハサミで見事トラ刈りにされた。夜遊びはおろか用足しにも頬かむりで歩くほどの恥ずかしさ。

以来、喫煙とは無縁の人生を歩いている。

●議長　中村清次郎

の出来事につながって行く。

畑仕事の一服休みで痛む足腰を憩う時に、大人たちのくゆらす紫煙の香りに言い知れぬやすらぎを感じ欲望を覚えた。それからしばらく、吸いたいが銭はないのジレンマが続く。

文化・スポーツ

☎図書館4-1507　★府中地区公民館4-1530　★東地区公民館6-6503

♬すばらしい演奏で聴衆を魅了♪
＝石岡市民吹奏楽団演奏会＝

十二月八日(日)午後二時から、市民会館大ホールで、市文化協会加盟の石岡市民吹奏楽団第四回定期演奏会が開かれました。

当日は、三部構成で編成され、第一部ではアルフォード作曲のボギー大佐や、ロジャース作曲のサウンド・オブ・ミュージックなどを演奏、第二部ではチャイコフスキー作曲のくるみ割り人形より、あし笛の踊りなど七曲、第三部ではドボルザーク作曲の新世界より終楽章など三曲が演奏され、聴衆はすばらしい演奏に魅了されました。

石岡市民吹奏楽団は、「好きな音楽で地域の文化向上に役立ちたい」との目的で、昭和五十六年に石岡一高吹奏楽部卒業生十七名で結成。

その後、輪が広がり今では団員四十二名の大所帯。

しかし、ここまで来るのにも多くの苦難がありました。

その当時を振り返りながら、染谷に住む団長の金子広文さんは、「楽器の音が大きいので、練習場所を探すのに大変苦労しましたネ。初めは、勤労青少年ホームの体育館でやっていたんですが、音響効果が悪かったりで杉並小学校に移ったものの、諸搬の事情でここもすぐ出る羽目になり、好意で今の営農研修センターになったんですヨ」と感慨深げに話してくれました。

団員の職業も、楽器店の店員から航空自衛隊百里基地の隊員運送会社や農協、八郷町役場の職員などさまざま。

そのため、練習は毎週土曜日の夜行なわれ、午後六時頃になると団員たちは思い思いに楽器を片手に営農研修センターに集まり、夜遅くまで美しい音色が鳴り響きます。

市民吹奏楽団のレパートリーは、ポピュラーからクラシックまで約四十曲、特にその中でも「英雄行進曲」は得意な曲。

女性団員の石崎正子さんは、「全体のハーモニーがピシッと決まったときは、最高に気持ちがいいですネ。まだ独身ですが、これからも続けたいと思っています」と、やさしい笑顔で話してくれました。

会費は、一人月二千円で運営されているものの、月八千円の会場使用料や、高価な大太鼓、チューバなど個人持ちでは困難な楽器は、団でやりくりしながら購入するなど厳しい財政。

「音楽を通して多くの仲間ができ、やっていてよかったナーとつくづく思いますヨ！しかも、好きな楽器が吹けとてもやりがいがありますネ」と、にこにこ顔で話してくれたのは関川に住む服部光一さん。これからの抱負を、副団長の中山健一さんは、「音楽の仲間同士の輪を広げていきたいですネ、たとえば演奏会に石岡市民合唱団との交流ができればと思っています」と、夢は広がるばかりです。

▲毎週土曜日午後６時から９時過ぎまで熱のこもった練習に励む石岡市民吹奏楽団員。

公民館
七宝焼講座に参加して
小松崎　正雄

わたしと七宝焼の出会いは、学生生活二十歳のときに、父親より懐中時計を贈られたことからです。

それは、黒色の文字板に金色の数字の七宝焼でした。

わたしは、父親に感謝すると同時に、大変気に入り、以来七宝焼に魅力を感じ、一度は自分の手で焼いてみたいと思っていた矢先、市の広報紙で七宝焼の講座が東地区公民館で開かれることを知り、急ぎ受講手続きをした次第です。

講師には、陶芸、彫刻、油絵、日本画（水墨画・水彩画）と幅広い芸術家である都賀俊雄先生を迎え、毎回熱の込もった指導に四十名の参加者は、皆真剣そのものでした。

第一回目の講座は、十月十一日に開かれ、七宝焼の歴史に始まり、理論、技法と学習目標など、日常生活の中で身近な七宝作品を自らの手で作る楽しみの講義の後、早々タイピンの実技に入りました。

第二回目では、ペンダントの製作。

三回目が指輪、四回目がブローチと回を重ねるごとに講師の指導を得、受講生は心の余裕と作業の馴れが、自分の欲する配色を使い、自分なりの艶・彩の美の探究を発揮するまでになりました。

先日、六回目の講座で閉講しましたが、都賀先生の懇切丁寧な指導に感謝すると共に、機会があれば再度この様な一般教養を深める企画をお願いする次第です。

▲東地区公民館で開かれている七宝焼講座には毎回多勢の受講生が参加。

市スポーツ少年団バドミントン大会

十二月一日、石岡小学校体育館において、市スポーツ少年団本部長杯バドミントン大会が開かれました。

本大会に参加したのは、石岡・東・南・府中・北・杉の子の各バドミントンスポーツ少年団、総勢二百十名。優勝者は次の通りです。（　）は団体名の略称です。

6年		5年		4年	
女子	男子	女子	男子	女子	男子
花木美幸 小林幸子 （石岡）	太田道治 岡野圭人 （石岡）	松本恵 新井佐知子 （石岡）	飯島信之 鈴木義信 （石岡）	小川益子 小川洋子 （東）	祖父江真 市川敬 （南）

白銀の世界へ行ってみませんか

参加者募集

申し込み・問い合わせは
渡辺 俊明　☎(6)2727

- ●期　　日　2月8日(土)午後7時30分出発 ～2月11日(火)午後10時着
- ●会　　場　新潟県岩原スキー場
- ●宿泊先　ロッジ シャリンベル
- ●会　　費　1人 24,000円(交通費・宿泊費・保険料)
- ●募集人員　40名
- ●主　　催　石岡スキークラブ（市体育協会スキー部加盟）

図書館
★合同読書会にいらっしゃいませんか★

◆期　日　2月21日(金)
◆場　所　石岡市立図書館
◆時　間　午前10時～
◆テキスト　小檜山博 著　集英社刊
「地の音」
（厳冬の村を離れ、家族を想いながら暮らした著者の高校三年間の寮生活を描きだした作品）
◇助言者　入沢 茂男（県社会教育指導員）
小林 二郎（府中病院医師）
中島 義一（市建設部長）

毎年恒例の合同読書会（市立図書館・市読書会連合会・共催）が、右の内容で開催されますので振るってご参加ください。又、これから読書会を作ってみたい方、本の好きな方も是非おいでください。

お待ちしております。

詳しい内容については、市立図書館☎4－1507まで。

ご利用ください
盛賢寺文庫

図書館から離れていて、思うように図書館を利用することができない皆さんへ、地域文庫として市内全域五十数団体へ、図書館から約二万冊の本の貸し出しを行っています。

『文庫紹介』

昭和六十年六月から文庫を始めた、市内井関の野口隆二さん宅の「盛賢寺文庫」を紹介します。

自宅の一角を解放され、多方面の児童・一般図書約六百冊を毎日午前九時から午後五時まで、地元の皆さんへ貸し出しを行っています。

近所の子供たちや、農作業を終えたお母さん方などたくさんの人が利用しています。

貸し出しにあたるのは野口洋子さん。

「ネェーお姉さんパソコンの本ある・・・・・・」

「・・・・・さんの小説ありますか」応対に大忙しの毎日です。

これから先も、地域の皆さんに親しまれ喜ばれる「盛賢寺文庫」となってください。

図書館では、利用者が読みたい本を少しでも多く選べるよう、定期的に本の入れ替えを行っています。

※文庫を開設したい方、要望があれば図書を編成してお届けしますので、申し込みください。

▲近所の子供たちや農作業を終えたお母さん方が気軽に利用している盛賢寺文庫。

明 ガールスカウトが明翠園のお年寄りを慰問

12月24日石岡のガールスカウト茨城第12団のかわいい団員30名が半の木にある明翠園を訪れ体の不自由なお年寄りを慰問しました。当日はクリスマスイブとあって高校生がサンタに扮し自分たちで作った人形などをプレゼントしたり肩をもんでお年寄りたちは大感激。

愛

一人暮らしのお年寄りの家を訪問し火災予防点検を行った石岡消防署。この点検で人命安全の確立を図ろうという職員たちの愛のこもったアドバイスが光りました。

暖 駅にあったか～い贈り物

新治郡千代田村にある養護老人ホーム「清翠園」（高木康夫理事長）に入所しているお年寄りが12月17日石岡駅を訪れ「待合室のイスに取り付けてください」と手作りの座布団30枚をプレゼントしてくれました。

喜 落ち葉を踏みながらの忘年ハイキング

12月8日石岡山岳会（風間洋三代表）主催による忘年ハイキングに、降りしきる雨の中約50名が参加。お昼には温かな豚汁を吸すりながら一年間の思い出話しに花を咲かせました。

まちのできごと

●北風小僧の6P●

麗 "高浜を奇麗な町に"と高浜小の子供たちが清掃作業

恒例のたかはまクリーン作戦が、12月7日、高浜小270名の児童たちの手によって行われました。駅や神社や恋瀬川、みんなキレイになりました。

寅 三村のタコ上げ寅さん

今年の年男・浅野寅雄さん72は、無類のタコ作り名人です。子供の頃からの経験を生かし、毎年三村のタコ上げ大会では誰より大きい龍ダコを空に舞わせています。

文芸いしおか

▼俳句の部

泉町　醍醐　味風

いのちが歩く人間くさき枯の街　大谷津　大関　ひさ

極月や定年のない厨妻　国府四　大場　和子

寒すばる自我を脱ぎたい五十路くる　総社二　楚坂　和彦

胸中の未知をはぐくむ日記買う　若松一　金子　起久

さりげなく話題のかわるおでんなべ　茨城三　本多登美子

枯菊というには早き菊を刈る　国府四　生井　静

ビル高く夢を乗せくる千歳飴　鈴木　虚心

客も来ないし落葉も散った　釘を打ちつけ閉す茶屋　長島五十路

銀杏落葉の黄金の瓦　葺いて山家は冬に入る　石毛　芦影

落葉しぐれに今年も過ぎて　心忙しい師走道　岩崎　山水

落葉焚火を笑顔で囲み　孫は太目の芋を焼く　今川志げ野

情け容赦のない木枯しに　紅葉落葉で根を守る　大和田規美子

雨に音なく銀杏の落葉　黄金作りになる山家

▼短歌の部　国府五　山口　としなじまざる義歯幾度か外し見つ　すべなくひと日炬燵に籠もる　若松二　三輪　昂

日課とて歩く装勇しく　木枯の径を老の来れり　半の木　田崎しづえ

乗客の終いの我を降ろしたる　バスは野の風乗せて発車す

▼俚謡の部　題「落葉」

ぼくらの名物先生 ⑬

●城南中学校　米川広子⑭

大洗から車で城南中まで通う米川先生は、運転歴二年半。優しさと包容力に満ちた快活な独身の英語教師です。「素直で良い子ばかりですよ」と、先生はマシュマロのような笑顔。

「困ったときに相談にのってくれる優しい先生です」と言うのは高野佐知枝さん。

広瀬慶之助君が楽しそうな表情で「先生は口を大きく開けて愉快に笑うのダ。あだ名は〝ピラチュウ〟」と説明を加えます。誰が名付け親なのか、と聞くと手を上げたのは川島学将君。

「ピラチュウは平目の平・注意の注と書き、意味は不明」と言うと、周囲が意味ありげにゲラゲラと笑いました。

「発音が分かり易くて、笑顔がかわいい。早く結婚してね」と石田桂子ちゃんが心からのアドバイス。剣道初段の奥田賢一君は「おもしろいけど、宿題減らして欲しいなぁ」とささやかなお願い。祖父江崇君いわく。「性格は優しいけど少し暗い。希望はテストの問題を簡単に」

「忘れ物をすると凄く怒る。先生、虫歯早く治してネ」しめくくりは松塚真知子さんでした。

くらしのガイド

市役所 ☎(3)1111
市民会館 ☎(2)5187
メディカルセンター ☎(4)1385
テレホン・サービス ☎(3)3333

困り事

●**市民相談** 毎週月曜～土曜 市役所市民相談室
●**困りごと相談**
2月7日・21日 午前10時～午後3時 市民会館
●**行政・登記相談**
2月13日(木) 午前10時～午後3時 市役所会議室
●**法律相談** 市民相談室（内線263）
2月12日(火) 長谷川恒弘弁護士
2月25日(火) 野武興一弁護士
午後1時～4時 電話で予約を行なってください。
●**交通事故相談** 2月21日・午前10時～午後3時市民会館

赤ちゃん健診

●**3ヵ月児健診** メディカルセンター・病気の時は翌月に
2月5日 午後1時～2時 対象・昭和60年10月出生児
●**10ヵ月児健診** メディカルセンター
2月12日 午後1時～2時 対象・昭和60年3月出生児
●**1歳6ヵ月児健診** メディカルセンター
2月19日 午後1時～2時 対象・昭和59年8月出生児
●**3歳児健診** メディカルセンター
2月26日 午後1時～2時 対象・昭和58年1月出生児
●**モシモシ赤ちゃん相談** ☎4－1386
2月3日・10日・17日・24日 午前9時～午後4時

ふるさと散歩道㊲

ちんからりん
舟塚山に月が出た

おしんど山に月が出た
もっこをもってちんからりん
むしろをもってちんからりん

中津川・北根本付近には、かつてはこんなユーモラスな歌が残されていました。おしんど山とは舟塚山のこと。この巨大な墳墓の築造の時代を、後世の人人が回想して作ったものです。

仕事にかりだされた人夫たちの様子が、月の光を浴びてシルエットのように浮かび上がってきます。

▲舟塚山古墳を作った巨大なエネルギーは、石岡が常陸国の中心地となる基礎になったのです。

舟塚山は、高浜街道の南、眼下に高浜の町を見下ろす台地の上にあります。茨城県で最大の前方後円墳であり、関東では二番目の規模を誇っています。千五百年前の古代から、その雄大な姿は人々の目を捕え、信仰の対象にもなってきました。

全長百八十六メートル。人力によって盛り土されたその土量は、約六万立方メートル。トラック二万台分の土に相当します。

しかも設計図があったらしく、その形は仁徳天皇陵に酷似しています。土は無秩序ではなく、一段目・二段目と規則正しく積み上げられ、段ごとに埴輪が並べられていきました。

完成後、後円部の中心に墓穴を掘り首長を手厚く埋葬。

前方部ではその死を惜しむ祭りが数日の間続けられました。

以後、舟塚山は信仰の山としてあがめられ、中世には〝青野爽山〟という名で青屋祭りの重要な位置を占めていました。

明治時代には、頂に大木があり霞ケ浦を行き交う船の目標となっていました。しかし、ある日大風で倒れてしまい、根本から数百本の刀が出土しました。

強大な権力を持ついにしえの豪族は、巨大な古墳を残しました。以後、それが常陸国の基礎となったのです。

各種相談

●**国民年金・厚生年金相談**
2月7日(金) 午前10時～午後2時30分 商工会議所
●**義肢・車いす装具等巡回修理**・土浦市社会福祉センター
2月19日(水) 午前9時30分～12時
●**高齢者無料職業紹介所** 毎週月曜～土曜
市役所 社会福祉協議会
●**出張相談** 毎月第一水曜日 府中地区公民館
毎月第二水曜日 老人憩の家
毎月第三水曜日 東地区公民館
※いずれも午前9時～午後3時
●**精神衛生相談** 石岡保健所 ☎4－1335
2月4日・18日 専門の精神科医師 午後2時～3時
●**市民健康相談** 市役所市民健康相談室
毎週月・水・金 毎月第一木曜日

健康相談

●**妊婦教室** メディカルセンター
2月3日(月)・10日(月)・17日(月) 午後1時30分～4時
●**リハビリテーション**
2月7日(金)・14日(金)・21日(金)・28日(金)
午後1時30分～3時30分
●**健康相談** メディカルセンター
2月3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)
午前10時～午後3時
●**出張健康相談** 各会場とも午前10時～午後3時
2月4日(火) 高浜公民館・午前 東大橋公民館・午後
2月7日(金) 石岡商工会議所
2月13日(木) 老人いこいの家
2月20日(木) 東地区公民館
2月27日(木) 府中地区公民館

こんにちは赤ちゃん

●**箕輪 竜典**（たつのり）くん（一歳四ヵ月） 府中五丁目

両親が、勤めに出ている関係で、仲良しお友だちはおじいちゃん・おばあちゃんという竜典君。

自動車が大好きという竜典君は、おじいちゃんが車で外出しようものならもう大変！

車目掛けて突進です。

母親の箕輪秀美さん㉔は、「この児は、用心深く石橋を叩いて渡る性格なんです。将来は、国を動かすような立派な人になってほしいですネ」

大のテレビ好きで、特に「おかあさんといっしょ」を見ているときは、脇で何を言っても「ぼくには、関係ないでちゅヨ」と、言わんばかりにテレビに夢中になっている竜典君でーす。

善意銀行

善意銀行への暖かいお心、本当にありがとうございました。

★**金銭の部**

小原流土浦支部	一、五〇〇円
石岡一高定時制生徒会	三、三〇〇円
細井泰秀	三〇、〇〇〇円
匿名	八、二五〇円
石岡巻柏会	四、〇三六円
中村つね	一〇、〇〇〇円
市役所環境保全課	五七、七五五円
藤倉電線・協栄線材・フジモールド・藤倉プラスチックス	一六、〇〇〇円
水戸ヤクルト販売㈱石岡支店	六八、三二一円
山口晟	九八、四七〇円
カトーデンキ販売株式会社	一、〇〇〇、〇〇〇円
藤倉プラスチックス加工	二、五五九円

※十一月一日～十二月二十六日までの分です。

休日緊急診療

●受付 午前9時～午後3時30分（歯科は午前11時30分まで）

月	日	産婦人科	外科	内科・歯科
1月	26日(日)	松葉病院 ☎(3)－2157	山王台病院 ☎(6)－3130	メディカルセンター 杉並2－1 ☎4－1386（内科は小児科を含む）
2月	2日(日)	桧山医院 ☎(6)－3812	斉藤病院 ☎(6)－2131	
	9日(日)	飯田医院 ☎(2)－2268	青木医院 ☎(3)－0221	
	11日(日)	松葉病院 ☎(3)－2157	佐久間医院 ☎(2)－2415	
	16日(日)	桧山医院 ☎(6)－3812	同愛病院 ☎(2)－2261	
	23日(日)	松葉病院 ☎(3)－2157	府中病院 ☎(2)－2146	

夜間緊急診療

●受付 午後7時～10時30分

1月26日 2月1日・2日・8日・9日・10日・11日 15日・16日・22日・23日	メディカルセンター 杉並2-1 ☎4-1386 内 科・小児科

納期を忘れないでネ

1月
市県民税(4期)
国民健康保険税(6期)
国民年金(4期)

2月
固定資産税(4期)
都市計画税(4期)
下水道受益者負担金(4期)
2/20～2/28

おくやみ（十二月届出）

横山八千代	69	府中一
小島はる	90	府中三
石塚よ以	98	府中四
岡野重信	93	府中五
秋山みの	83	行里川
堀切とし	69	北府中三
川口庄助	83	貝地二
小松崎文子	72	貝地二
磯部太郎平	74	田島一
島田政男	69	田崎
日下せつ子	69	三村
平塚清	78	三村
小松きく	85	小井戸
細井千代松	80	小井戸
小松崎直	92	井関
木間塚章	74	井関
増田すて	89	井関
小松崎みつ	73	井関
古木濱太郎	82	東府中
井坂なか	83	東大橋
大宮秀雄	37	東ノ辻
荒野なを	75	中津川
亀下徳次郎	76	旭台一
森田敏	83	東石岡二

今年こそ市内から交通事故を追放しましょう

12月の市内交通事故

発生件数	25 (259)
死者	1 (3)
傷者	27 (347)

（ ）内は昭和60年1月から12月までの累計

編集後記

初詣での帰り道。足音がするので、振り返ると貧乏神と厄病神がついてきます。

「おまえらなんか大嫌いだ！とっとと消えてしまえ」ちょうど持っていたリポビタンDと千円札を投げ付けました。二人が争って取り合う隙に、私は駆け出しました。「ふん、今年こそはあの二人にはつかまらんぞ」